

2023年
vol.85

金沢脳神経外科病院通信

クローバー

脳卒中 その後

脳卒中で入院治療後、医師より「あとはリハビリです。」といわれることがあります。「まだ元通りではないのに」と患者さんも家族も不安に思いながらもリハビリテーションに期待してリハビリテーション病棟へ入院してこられます。

医学では患者さんの経過を**急性期**、**回復期**、**生活期**と分類し、それぞれの時期に応じた治療やリハビリテーションが行われています。リハビリテーションが最も多く行われる時期は回復期であり、その効果が大きい時期でもあります。回復期リハビリテーション病棟はそのリハビリテーション治療の主たる役割を担うべく、2000年に介護保険制度とともに設立されました。

回復期リハビリテーション病棟ではできるだけリハビリテーションを行い、脳卒中後遺症を可能な限り減らすことが重要です。退院後の生活は介護保険を活用し、生活しやすいように家族に負担がかからないようにと計画を立てていきます。

リハビリテーションで尋ねられるのが、「歩けますか」「手が使えるようになりますか」「話せるようになりますか」「復職できますか」などです。歩けない時のリハビリテーションの大まかな治療経過を一例にあげると次のようなものになります。

麻痺して立てない足を外から支える装具、膝も支えるものを用いて起立、足の振り出しの練習などをリハビリテーション療法士の支援で行います。さらに筋力が出てくると装具を短く、軽いものにしていきます。つか

まり歩行、杖歩行などと進歩していきます。この経過には麻痺の程度、個人差もあり、数か月を要することもあります。自宅へ帰られるのを第一目標として行っていきます。

また麻痺した手足は数か月後には痙縮、突っ張り、こわばりが出現してきてそのための動かしにくさが加わります。これらの突っ張りに対しては**ボツリヌス注射療法**が有効になります。突っ張る筋肉にボツリヌス薬液を注射し、リハビリテーションと組み合わせることでこわばりがとれ、動かしやすくなります。しかし、麻痺が改善するわけではありません。

脳卒中後には 「目標」と「ゴール」と「現実」と

脳卒中では「もどに戻るといふ」目標に向かつて、身近なゴールを設定し、ゴールに到達すれば新たなゴールを立案し、目標に向かつていきます。ゴールは超えるものであり、新たにゴールを設定していきます。その際には、今現在のできる能力をもとに生活を計画していく現実も大切なものになります。

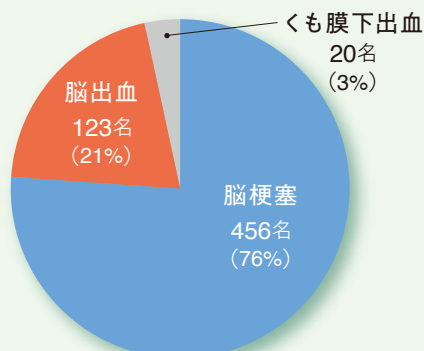
以上のようなことを思いながら、医療内容の向上、地域への貢献を目指しています。

金沢脳神経外科病院
副院長
宗本 滋

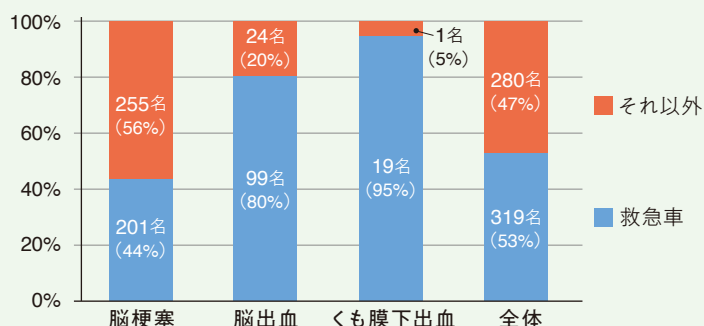


脳卒中の救急医療

脳卒中タイプ別



受診手段別



令和4年は延べ599名の脳卒中の患者さんが入院しました(令和3年より1割増加)。脳卒中は血管が詰まる「脳梗塞」、脳内が出血する「脳出血」、脳の表面に出血が広がる「くも膜下出血」があります。内訳は、円グラフで示すように脳梗塞が7割以上を占め、脳出血が2割です。

脳梗塞では約4割が救急車で来院していますが、半分以上は自宅で様子を見ていたり、症状が軽く救急車を要請しなかったかたです。脳出血やくも膜下出血では、症状が劇的に現れることが多いため救急搬送率が高い傾向があります。

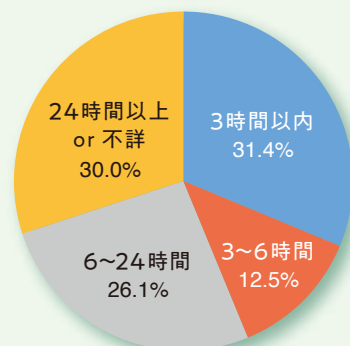
脳梗塞に対する血栓回収、t-PAの件数

脳血栓回収術	21 ※1…発症 8 時間以内
t-PA 静注 血栓溶解療法	21 ※2…発症 4.5 時間以内

「脳血栓回収術」、「t-PA 血栓溶解療法」はどちらも詰まった血管を再開通させることで血流途絶による脳組織の決定的な損傷が起きる前に脳に十分な血流を戻す治療です。

ただし、どちらの治療も開始時間に制約(※1,2)がありますが、グラフに示すように、約6割の方は発症から6時間以上経過しておられます。数日様子を見てから来院される方も少なからずおられ、この場合十分な治療ができない可能性があります。下の図のような症状があった場合には一刻も早く救急要請し治療を受ける必要があります。

脳梗塞における受診までの時間



脳卒中の症状が疑われたら、
すぐに救急車を呼びましょう！
キーワードは
「FAST」です！

脳卒中の症状(FAST) ▶



※イラストには版權があります。許可ない使用はご遠慮ください。



顔や口の片方が
ゆがむ。しびれる。



両手をあげると、
片方の手が下がる。



ろれつが回らない。
言葉が出ない。



一つでも症状があれば
時間をあけずに
119 番または専門病院へ

連携登録医のご紹介

連携登録医とは

地域の医療機関と金沢脳神経外科病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の連携を目指し開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

今回は、白山市専福寺町の 「やなぎ内科クリニック」を ご紹介いたします。

白山市専福寺町にて内科を開業して16年になります。身近で頼りになる地域のかかりつけ医として、一般内科、消化器内科、胃・大腸内視鏡検査を専門として診療しています。



人生100年時代と言われる昨今、いかに健康で自立した日常生活を送ることができる健康寿命を延ばすことが重要な課題だと考えています。

当院では、①高血圧や糖尿病などの生活習慣病の適切な管理・治療、②ガン・認知症などの疾病の早期発見・治療、③定期健康診断などによる長期的な健康管理・相談、④種々のワクチン接種による疾病の予防、⑤在宅療養や緩和医療が必要な人への訪問診療、⑥地域の介護や福祉サービスと連携し地域包括ケアシステムづくりに力を入れています。

また、県立松任高校の学校医、地域企業の産業医、がん検診や住民健診など医師会の理事として地域社会の健康づくりを目指して積極的に活動しています。

診療のポリシーとして、いつでも、何でも相談していただけるよう、しっかりとコミュニケーションをとって診療し、結果をわかりやすく伝え、患者さんのライフスタイルを理解したうえで治療目標を共有したいと思っています。必要なときには、地域の幅広い人脈を活かし適切な専門の医師や医療機関を紹介いたします。

開業当初から、当院にとって距離的にも近い金沢脳神経外科病院は頼もしい専門医療機関として、脳血管障害の緊急患者を含めいつも連携させていただき大変助けていただいています。紹介した患者さんからもとても満足していただいております、この場を借りて感謝いたしますと同時に今後ともよろしくお願いいたします。

取材スタッフより

優しい口調で穏やかな雰囲気素敵な先生でした😊
当院から徒歩圏内のクリニックです。



院長 柳 昌幸 先生

【所属学会・日本内科学会 認定内科医
認定医】日本消化器病学会 専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本医師会 認定産業医
白山ののいち医師会理事

【略 歴】昭和61年 金沢大学医学部 卒業
昭和61年 金沢大学医学部附属病院
旧第一内科 入局
平成2年 金沢大学大学院 医学研究科
(内科学)卒業
平成7年 アメリカ国立衛生研究所(NIH)
客員研究員
平成11年 河北中央病院内科部長
平成16年 金沢赤十字病院内科・検査部長
平成19年 やなぎ内科クリニック開業

【診療科】内科・消化器科・胃腸科

【住 所】白山市専福寺町161番1

【電 話】076-277-6200

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:30	○	○	○	○	○	○	
14:00-18:00	○	○	○		○		

休診日：木曜と土曜日の午後・日曜・祝日



脳深部刺激術100例・定位的脳凝固術50例に到達

金沢脳神経外科脳神経外科 部長 旭 雄士

2015年4月に私が当院へ赴任し、そろそろ8年となります。以後、定位・機能神経外科手術を担当させていただいております。定位・機能神経外科手術として、脳深部刺激療法、定位的脳凝固術(視床凝固術)、脊髄刺激療法、バクロフェン髄注療法などを行っておりますが、このたび、脳深部刺激療法が100例、定位的脳凝固術が50例に達しましたので、ご報告させていただきます。一重に病院スタッフ一同、患者さんをご紹介していただいた先生方、ご指導していただいた他大学の先生方のご支援の賜物です。この場をお借りして感謝申し上げます。

脳深部刺激療法は、パーキンソン病やジストニア、ふるえをきたす疾患(本態性振戦等)などに対して行われます。主にパーキンソン病に対して行われておりますが、パーキンソン病は進行性の疾患で、歩行障害やふるえ等の症状が出現します。残念ながらパーキンソン病を完治させる治療法はありませんが、脳の特定の部位を電気刺激することでパーキンソン病の症状を軽減させます。

定位的脳凝固術は、脳内の一部を熱凝固し、機能をさせないようにすることで症状の改善を図ります。主に、ふるえをきたす疾患(本態性振戦、ふるえが主な症状のパーキンソン病等)、ジストニアなどに施行されます。適応となる疾患においては劇的な効果をもたらし、完治に至ることもあります。この治療法は、体内に電極や刺激装置を埋め込むことはありません。

このような手術治療を行っている病院は限られており、機能的定位脳手術技術認定施設は、全国で34施設(2022年度)しかありません。当院は2017年に施設認定を受け、北陸3県では当院のみとなっております。北陸では特に認知度が低いと思われます。治療法があることを知らずにあきらめてしまっている患者さんも少なくないと思います。今後も地道に啓発活動を行い、患者さんのために常に最新の治療を、よりよい手術成績で提供できるように努めてまいりたいと存じます。



新型コロナウイルスおよびインフルエンザ等の感染症対策について

当院では、引き続き患者さん・医療従事者等を感染から守るために、院内の感染対策の徹底を強化しています。ご理解・ご協力をお願いします。(病院長)



対応に関しては常時変更となる可能性があります。最新情報は当院のホームページに掲載しています。

病院
理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様に、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。



日本医療機能評価機構 認定病院

医療法人社団 浅ノ川

金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2

TEL:076-246-5600 FAX:076-246-3914

<https://www.nouge.net>

金沢脳神経外科病院 広報誌 第85号 発行:広報委員会
2023年2月20日発行